

法教育 ニュース

2019年10月

No.15

発行：愛知県弁護士会法教育委員会

令和元年度サマースクール、大盛況！

令和元年7月30日（火）、31日（水）、8月2日（金）の日程で、例年のとおり、愛知県弁護士会サマースクールが開催されました。

本年度も、昨年度と同様に「小学生の日」を設け、「小学生向け模擬裁判『続・赤ずきんちゃん～オオカミ兄弟のかんちがい』」や憲法企画第3弾の「憲法とアリス～ふしぎの国のルール作り～」を実施したほか、中高生向けの企画として「弁護士に挑戦！」、「ティーンコート」、「クイズ選手権～2019夏～」、「裁判官・検察官・弁護士ここだけの話」、「中高生向け模擬裁判『ソフトでハードな暴行事件～反撃のフルスイング～』」、「法廷見学ツアー」といった多彩なプログラムを実施し、延べ312名もの子ども達が参加してくれました。いずれのプログラムも盛況のうちに終わることができました。

来年度も、小学校5年生から高校3年生までの幅広い年齢の子ども達に楽しんで学んでもらえるような企画を実施する予定ですので、多くの子ども達が「入学」してくれることを楽しみにしています♪



【中高生向け模擬裁判の様子】



【ティーンコートの様子】

特集 サマースクール座談会！

過去にサマースクールを受講した生徒さん達に、当時の思い出やサマースクールの感想、将来の志望などについてお話を伺いました。

【今回お話を聞いたのは…】

＜おさだ えりな長田 恵梨菜さん＞

名古屋大学 法学部 3年生

＜きまた まな木全 麻奈さん＞

金城学院大学 人間科学部 2年生



左：長田さん 右：木全さん

【サマースクールに参加したきっかけは？】

長田 中学生の頃から法曹の道へ進むことを意識していたのですが、高校2年生の時、学校でサマースクールの案内が張り出されているのを見て、面白そうだと思い、自分で参加の申込みをしました。確か、その年は「裁判官・検察官・弁護士ここだけの話」に参加したと思います。実際に参加してみて、もっと色々なプログラムに参加してみたいと思い、次の年は「法廷見学ツアー」、「弁護士に挑戦!」、「ティーンコート」に参加しました。

木全 私も長田さんと同じ高校に通っていましたが、高校1年生の時、朝礼の時間に担任の先生からサマースクールの紹介があり、自分で申し込んで参加してみることにしました。1年目は「法廷見学ツアー」、「弁護士に

挑戦!」、「ティーンコート」、「模擬裁判」に参加したんですが、その時に他校の子達と仲良くなって連絡を取るようになり、来年もまた皆で参加しよう!と盛り上がり、次の年も参加することになりました。2年目は全てのプログラムに参加した記憶です。この時に仲良くなった子達とは、今もLINEで連絡を取り合っています。

【印象に残っていることは？】

長田 法廷見学ツアーで傍聴した、万引きをした若い女性の公判が印象に残っています。私は、この時が初めての裁判傍聴だったんですが、裁判官が、被告人を追及することよりも、被告人が更生するためには何が大事なのか、というところに力を入れていたんです。私は、当時から、被告人が罪を犯してしまった原因を突き止めて、どうすれば再犯を防止することができるのかを考えていくのが理想的な裁判のあり方だと思っていたんですが、そのイメージ通りだったので、法曹の道を目指すための大きなモチベーションアップにつながりました。

木全 当日はとにかく楽しかったです。ただ、「弁護士に挑戦!」のディベートでは、感情論になってしまって発言を止められてしまうことがあり、すごく悔しかったのを覚えています。対戦相手の弁護士さんは一言でズバッと要点を突いてくるので、やっぱり弁護士さんはすごいなと思いました。

【サマースクールの講座の特徴は？】

長田 サマースクールはその場限りのメンバーで行うので、お互いに遠慮せずに言いたいことを言えるのがいいと思います。学校でもディベートなどの授業はありましたが、周りの皆とその先も一緒に学校生活を送るんだということを考えると、変に気を遣って自分の意見を言い出しにくかったりするんです。

木全 私もそう思います。サマースクールは、元々意欲がある子達が集まってくるので、本当に議論が盛り上がり、皆が真剣に向かってくるから、こちらも遠慮せずに言いたいことを言うことができました。

【サマースクールでの経験が活きる場面はありますか？】

木全 教職課程で授業案作りをするんですが、アクティブラーニングを取り入れないといけないんです。サマースクールで自分が経験したように、こちらから生徒達に話しかけながら、生徒達は今何をすればいいのか、課題が分かりやすくなるように心がけています。

【サマースクールに参加して、弁護士に対するイメージは変わりましたか？】

長田 弁護士さんは難しい言葉ばかり使うイメージだったんですが、実際に弁護士さんと話してみると、いい意味で本当に普通で、親近感が湧きました。弁護士さんも人間なんだな、と思いました（笑）。

木全 私は元々、学校の授業での個人研究で弁護士さんと接する機会はあったんですが、本がっぱいの部屋にいて、ガリ勉、そんなイメージでした（笑）。でも、実際は普通に喋れましたし、私達の話真剣にきちんと聞いてくれるんだなという印象を受けました。



【将来の志望について教えてください】

長田 元々は法曹志望でしたが、「手紙」(東野圭吾原作) というドラマを観て、社会には犯罪加害者を助ける誰かが必要だという意識が昔からあったこともあって、今は家庭裁判所調査官を目指しています。

木全 少年犯罪に興味があり、それもあってサマースクールに参加したんですが、授業で少年犯罪や少年院について研究しているうちに子どもに興味を持つようになり、今は教員を目指しています。私は、罪を犯す少年だけが悪いのではなく、何か理由やきっかけがあって、それらが全部つながっている、そしてそれを見つけてくれるのが弁護士さんだと思っています。

今回、お二人の話をお聞きして、参加した生徒さん達は、私達が思っている以上にサマースクールの講座で様々なことを感じ、楽しんでくれているのだと実感しました。

一期一会の仲間達と、お互いの意見を尊重し合いながら議論を深めていくという貴重な経験を、一人でも多くの生徒さん達に広めたいと考えています。

講師派遣20周年記念シンポジウム

「主権者教育における弁護士活用のススメ ～令和の授業は弁護士とともに～」のお知らせ

愛知県弁護士会は、本会での講師派遣事業を開始してから20周年となることを記念して、教員や学校関係者の皆様向けに、講師派遣をテーマにしたシンポジウムを開催いたします。実施概要は以下のとおりです。

日 時：令和2年3月20日（金・祝） 13：20～16：40（予定）

場 所：名古屋市教育館〔講堂〕（名古屋市東区泉1-1-4）（予定）

参加費：無料・当日参加可（可能な限り、事前申込みをお願いします。）

当日は、過去の派遣授業のご紹介や模擬裁判の実演等のプログラムを企画していますので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

講師派遣の申込方法など愛知県弁護士会の法教育活動のご紹介

愛知県弁護士会HP（<https://www.aiben.jp>）をご覧ください♪

愛知県弁護士会HPトップページ

⇒「愛知県弁護士会とは」

⇒「弁護士会の活動」の中の「法教育・法曹養成」

⇒「法教育委員会」をクリック！

<https://www.aiben.jp/page/frombars/katudou/houkyouiku.html>

各お問合せ・お申込みは **愛知県弁護士会 人権法制係** まで

（TEL 052-203-4410/FAX 052-204-1690）



サマースクール

毎年夏休みの期間に、小学校高学年から高校生を対象とした「サマースクール」を実施しています。

講師派遣（弁護士による出前授業）

当会が作成した法教育教材を利用した授業をはじめ、ディベート、模擬裁判など、学校からの申込みに応じ、無料で弁護士を派遣しています。

授業で使える教材開発

法教育教材をHPに掲載しています。授業にどうぞご利用ください。

学校評議員の推薦

学校評議員に適した弁護士を推薦しています。

※HPにて学校講師派遣の申込書をダウンロードできます。
また、法教育ニュースのバックナンバーをご覧いただけます。